

Vol. 70

# マイセルフ

特集  
P1▶P2

函館市女性つながりサポート事業  
ウイメンズサポート函館

P3▶P4

はこだてトランス day  
トークセッション要旨

P5

函館市女性センターからのお知らせ

P6

女性センターまつりのご案内  
はこだて男女共同参画フォーラム 2023

back cover

相談窓口 / Hakodate かがやきネット

函館市男女共同参画情報誌 / 2023.9



函館市女性つながりサポート事業

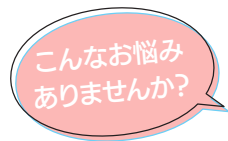
# ウイメンズサポート函館

## WOMEN'S SUPPORT HAKODATE

函館市では、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な不安を抱える女性のため「女性つながりサポート事業」を実施しています。「ウイメンズサポート函館」は北海道国際交流センター(HIF)が運営する函館市女性つながりサポート事業の名称です。

女性が抱えるさまざまな悩みに対応する相談窓口の開設の他、出張相談会や各種イベントの開催などを行っています。

### メール相談



- 将来に不安を感じる。
- 生活費に困っている。
- 育児に疲れた。
- 友だちがいない。
- 学校に行きたくない。
- 家の中に居場所がない。

仕事や家計について、家庭内のトラブル、心や身体の健康に関すること、出産・育児について等、毎日の生活の中で感じる不安や悩みを相談できます。専門のカウンセラーが3日以内に返答します。内容によっては関係機関と連携し、紹介や引継ぎ等の支援をするほか、ご希望の場所での対面相談も可能です。

受付 ▶ 24時間    返信 ▶ 月～金曜日 9:00～17:00    メール ▶ [women@hif.or.jp](mailto:women@hif.or.jp)  
※祝日、年末年始(12/29～1/3)を除く



### 訪問相談&ワークショップ

希望に応じてグループや各種団体を対象に訪問相談を実施します。また、育児に関する悩み、お金の管理、絵本の読み聞かせ会等、女性のためのワークショップを開催します。\*電話またはメール等での事前予約制。

場所 ▶ 相談者等の希望する場所  
(学校、事業所等への訪問も可能です。)

受付 ▶ 月～金曜日 9:00～17:00  
※祝日、年末年始(12/29～1/3)を除く

電話 ▶ 0138-22-0770

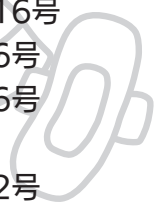
メール ▶ [women@hif.or.jp](mailto:women@hif.or.jp)

※ワークショップの詳細は、ウェブサイトやSNS等でお知らせします。

### 生理用品の提供

各相談窓口で相談者へ、生理用品をセット(昼用・20枚入り、夜用・13枚入り)で提供します。

- 北海道国際交流センター(HIF)
- 函館市女性センター
- 女性相談室(函館市役所)
- 女性相談室(亀田支所)
- 母子家庭等就業・自立支援センター
- ハローワーク函館マザーズコーナー
- 函館市社会福祉協議会
- 函館市地域包括支援センター(10箇所)
- 函館YWCA
- 〒040-0054 函館市元町14番1号
- 〒040-0042 函館市東川町11番12号
- 〒040-0036 函館市東雲町4番13号
- 〒041-0806 函館市美原1丁目26番8号
- 〒040-0063 函館市若松町35番16号
- 〒040-8609 函館市新川町26番6号
- 〒040-0063 函館市若松町33番6号
- ※地域によって異なります
- 〒040-0003 函館市松陰町1番12号



## 講演会 & 個別相談 (13:00 ~ 17:00)

毎月様々なジャンルの専門家を招いて、「女性のための講演会」を開催します。当日は個別相談ブースも併設し、専門のカウンセラーが対応します。

### ○ 講演会 (2月のみ映画上映会)

10月14日(土)

講演会

13:00 ~ 14:30

● **あなたを守るための、優しい法律相談**

講師 車 福順(山崎法律事務所 弁護士)

11月18日(土)

講演会

13:00 ~ 14:30

● **災害時に備える女性の心得～東日本大震災の経験から**

講師 五十嵐 ゆかり(聖路加国際大学 大学院看護学研究科 教授)

12月16日(土)

講演会

13:00 ~ 14:30

● **女性が当たり前生きられ、働ける北海道**

講師 菅原 亜都子(公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会)

1月20日(土)

講演会

13:00 ~ 14:30

● **しんがき先生と学ぼう『生理痛～更年期まで女性の体に起こること』**

講師 新垣 加奈(産婦人科医)

2月17日(土)

映画上映会

13:00 ~ 15:00

● **「駆け込み宿」Dorm**

監督 蘇育賢(スー・ユーシェン)

台湾/2021/54分/日本語・英語字幕



講演会終了後はこちら！

○ 個別相談 (講演会等終了後～17:00) ※講演会講師への相談は受け付けておりません。

○ 生理用品の提供 ※昼用20枚入り、夜用13枚入りの生理用品をセットで提供します。

○ 食材無料配布 ※HIFからの提供品



場所

函館コミュニティプラザ Gスクエア

(函館市本町24-1 シエスタハコダテ4階)

申込

メール(women@hif.or.jp)またはホームページから

ホームページは  
こちら▶▶▶▶▶



<https://hif.or.jp/womens-support/>

講演・相談会への参加は全て無料です♪

ひとりで抱え込まず、いっしょに考えましょう。

お問い合わせ

(一財)北海道国際交流センター(HIF) 〒040-0054 函館市元町14-1  
TEL.0138-22-0770 FAX.0138-22-0660 <https://www.hif.or.jp>

## はこだてトランスday

函館市女性センターでは、男女共同参画共催事業として、レインボーはこだてプロジェクトと共に、「はこだてトランスday」を開催しました。トランスジェンダー※1当事者(MtF※2×FtM※3)によるトークセッションの中から、主な内容をいくつかご紹介します。※1「トランスジェンダー」…身体的な性別と自認する性別が異なる人々の総称。※2「MtF」…Male(男性) to Female(女性)の略。男性として生まれ、女性として生きることを望む人を指す。※3「FtM」…Female(女性) to Male(男性)の略。女性として生まれ、男性として生きることを望む人を指す。



のぶか  
暢華さん(MtF)

神奈川県出身。男性の体で生まれたが、女性として過ごしている。現在はカミングアウトをし、札幌でトランスジェンダーの交流会を開催中。



Tさん(FtM)

函館市出身。女性の体で生まれたが、性別移行した男性である。現在はレインボーはこだてプロジェクトのメンバーとして、様々な活動を行う。

## Q. 性別に違和感があると気付いた時期・きっかけは？



## A. 幼稚園の時と、2015年にとある会社の調査を見たとき。

幼少期は下半身に違和感があって、肌色の折り紙で隠していました。長年、自分は女性かもしれないと思いつつも恋愛対象が女性だったので、男性は女性を恋愛対象とするのが当たり前という時代背景の中、そんな自分がずっと何者なのかわかりませんでした。その後、2015年にとある会社が実施した性に関する調査結果を見て、自分は女性だと自認しました。

## A. 時期は不明。きっかけは交際相手。

自分の体が女性のものであり、男性のものに変わることはないという認識はありましたが、物心ついた時から自分は男性だと感じていました。男性目線で女性を恋愛対象としているので、レズビアンとも違う自分について、交際相手から「性同一性障害ではないか?」と言われ、様々な情報を得るうちに、FtMにカテゴライズされると知りました。



## Q. 性別の違和感に気付いてから、どのくらいの期間で性別移行をした？



## A. 2015年から現在まで(約8年)。まだ戸籍は男性のまま。

医師も少なく、受診者も多いため、性同一性障害の診断を受けるまでに時間がかかりました。ホルモン治療は2019年から行っていますが、それまでに3~4年かかりましたね。手術はしていませんが、そろそろしたいと思っています。

## A. 5~6年。他の人はもう少し短い期間かも。

性同一性障害の診断を貰うために国内の病院を受診しました。日本のガイドラインに沿って進めて、ホルモン治療を開始し、手術を受ける許可を得て「乳房切除術」「子宮・卵巣摘出手術」を行い、戸籍を男性に変更しました。



## Q. 治療を開始するにあたり、迷いや葛藤はあった？



## A. 始まる前は躊躇した。

始まってからは、「やっとなされた」という気持ちでしたが、始まる前は少し躊躇しました。本当に自分は性同一性障害かを確かめるために診断を受けたので、診断が下りるまでの1年間は半信半疑でしたが、その過程で確実に自分は女性であると感じました。治療開始後は、間違いなく女性として生きていきたいと確信しましたね。

## A. 全くなかった。

女性として生きていくのが難しく、30歳で命を絶とうと考えていたので、自分として生きていけるかもしれない情報を手に入れ、「ラッキー」と思い、どうやって進めていこうかという期待感がありました。後から周りの当事者が躊躇していたことを聞き、悩む人が多いのだと気が付きました。



## Q. 本来の自分の姿で生活する前に、印象に残っていることは？

### A. セーラー服を着てメイクをした時、「これが素だ」と感じた。

現在50代、「男性は男性らしく」と言われる時代背景であったため、現代だと差別的な言葉ですが「ホモ」や「おかま」とよく言われました。

大学生時代、仮装パレードをする際、セーラー服を着てメイクをした時に、「やっぱりこれが素だ」と気が付きました。

職場にオープンなゲイが加わり、一緒に新宿二丁目に行ったのですが、ゲイバーやゲイのクラブは、トランスジェンダーのレズビアンである自分には合いませんでした。色んなセクシャリティの人が楽しめる街なので今は時々訪れているのですが、当時は自分の街ではないと誤解していました。



### A. 「一生を共にできない」と言われた。

女性として生きていくことに絶望したタイミングがありました。女性と交際していた際、結婚出産ができない中で「一生を共にできない」と言われたんです。別れてお互い結婚した上で、仲良くしないか？という提案もありましたが、自分は男性で異性愛者なので、男性と結婚するのは無理でした。

性別移行を決めたタイミングで転職した際に、採用担当者から初出勤の朝礼で、「こいつはFtMといって、今は女だが男になるんだ」と紹介されたこともありました。結果的に周りからも受け入れられ、嫌な扱いを受けることもありませんでした。今の時代ではアウトティングになってしましますが、今でも忘れられない衝撃的な出来事です。



## Q. 周囲へのカミングアウトはいつ？反応は？

### A. 性同一性障害の診断をされてから。基本的にトラブルはあまりない。

最初は長年一緒に暮らしている女性のパートナーに。すんなり受け入れてくれて、今も仲良く暮らしています。妹は「お兄ちゃんよりお姉ちゃんが欲しかったからよかった」と言ってくれました。母へのカミングアウトは、妹と相談してある芸能人が「ありのままの自分」になった際、理解を示したという情報を受けてから行いました。ドキドキしながら母に女性の姿の写真を見せたら、第一声がメイクのダメ出しでした(笑)。その他の人には、ホルモン治療を開始してからカミングアウトしました。縁が無くなった人や途切れてしまった仕事も多少ありますが、カミングアウトしたら新たな出会いや交流ができました。基本的にトラブルはあまりないです。



### A. 手術の同意書を書いてもらうタイミング。親は受け入れるも同意書はNO。

妹は「そうなんだ」と受け入れてくれました。親は、気持ちについては受け入れてくれましたが、同意書に関しては、「自分なりに勉強をしてみたが、手術については理解できない。」とサインをしてくれませんでした。男性として問題なく過ごせているので、日常生活で性別移行をしたことをわざわざ明かすことはないですね。



## Q. 当事者ではない人から、どのように対応してもらいたい？嫌なことは？

### A. 普通に話してほしい。

当事者への接し方に戸惑うことが多いと思いますが、腫れ物に触るようにはせず、さほど慎重にならずに普通に話してもらいたいです。人として失礼なことを初対面で聞かないなど、他の人と同じように対応してもらえればいいと思います。あえて言えば、嫌なのはトランスジェンダーに対して理解が難しい人から「あなた男？女？」と聞かれることですかね。



### A. 個人的には「男らしい、男っぽいね」が嬉しい。

昨今「男らしさ」「女性らしさ」という言葉を使わない方が良いとされていますが、自分は「男らしい」「男っぽいね」と言われるのが嬉しかったです。人によって考え方は違うので、「らしさ」にそぐわない人がいても、間違いではないし、それは周りが否定できるものではないと思います。

今の時代は違うかもしれませんが、学生時代、性同一性障害の診断を受けていない頃、「女子」前提で話を進められていたので、枠から外れないような嘘の会話をしていました。どこまで自分が嘘をつけばいいのか困っていました。



カミングアウトをするかしないか、カミングアウトのタイミングや情報の公開範囲、手術をするかしないかも本人の自由です。配慮が必要な場合もありますが、一般的に「失礼な態度を取らない」というのは、トランスジェンダーに限らず、人と接する上で最低限のルールです。今回のトランスdayで、トランスジェンダーのリアルな声を知ることができました！

レインボーはこだてプロジェクト (RHP)

HP <https://rainbowhakodate.wixsite.com/rainbow>  
X (旧Twitter) @team\_rhp2019

トランスXコミュニティ

HP <https://trans-x-gender.com/>  
X (旧Twitter) @trans\_x\_com



# 函館市女性センターからのお知らせ

## 後期講座のご案内

### エンディングサポート講座

大事な人を見送るときにしておかなければならない手続きなどについて、家族の立場から考え学ぶ講座です。

開催日時 令和5年11月15・22日(水)  
午後6時30分～8時

講師 司法書士法人シマノ 野村 寛人氏  
相続診断士 若山 竹見氏

### MEN's キッチン

日常生活の自立を目的に、料理初心者の男性でも簡単に出来て、実用的な家庭料理を学びましょう。

開催日時 令和5年12月9日(土)  
午後1時30分～3時30分

講師 函館短期大学付設調理製菓専門学校  
管理栄養士 伊藤 美樹氏

### 「アライ」の輪を広げよう

性的マイノリティ当事者たちの活動を支持、支援している人たちのことを指す「アライ」について学びましょう。

開催日時 令和6年1月22・29日(月)  
午後6時～8時

講師 NPO法人 共生ネット 原 ミナ汰氏  
まるたま小屋 店主 北見 伸子氏  
北教大函館校 准教授 古地 順一郎氏

### 筋トレ入門教室

姿勢の崩れから起こる不調を改善するために、キレイな身体の土台作りとして筋トレを体験しましょう。

開催日時 令和6年2月21・28日(水)  
午後1時30分～3時

講師 NSCA 認定パーソナルトレーナー  
橘高 由香氏

## 函女プロジェクトのご案内

函館市女性センターでは、函館近郊において様々な分野で活動している女性たちの活動記録などを、女性センターのホームページ上に公開することで、様々な活躍の場へとつなげることを目的とした函女プロジェクトを行っています。

これまでに、女性センターで講座などの講師を務めた函女は6名!「自分の活動/作品を広めたい」「たくさんの人とつながりたい」という前向きな函館の女性を募集しています。



詳しくはホームページをご覧ください。  
◀函女プロジェクトのページはこちら

函女プロジェクト

### 応募条件

### 函館近郊で活動中の女性

※登録は無料ですが、簡単な審査があります。



## 函館市女性センター

開館時間 月～土曜日(祝日・年末年始を除く)  
午前9時～午後9時

住所 函館市東川町11番12号

☎ 0138-23-4188

✉ info@hakodate-josen.com

🌐 <https://www.hakodate-josen.com/>

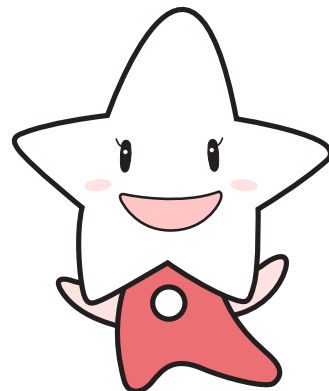
TOPIC

# 第43回 女性センターまつりのご案内

函館市女性センターでは、女性センター利用団体の交流と連携を深め、利用団体の活動や研修成果を広く一般市民に広報することを目的に、毎年、女性センターまつりを開催しています。今年は3年ぶりに活動体験とイベント広場が復活します！

女性センターに来たことがない方も、いつも利用している方も、ぜひお気軽にお立ち寄りください。※詳細はチラシまたは女性センター HP でご確認ください。

令和5年 **10月28日(土)**  
10:00～15:00  
〈会場〉函館市女性センター



女性センターまつり  
マスコットキャラクター  
「にっこりん」

＼こちらもぜひ、足をお運びください！／

函館市女性センター利用団体 **活動パネル・作品展示会**のご案内

- **期間** 令和5年10月23日(月)～10月28日(土) 9:00～21:00
- **会場** 函館市女性センター

お問い合わせは **0138-23-4188** (函館市女性センターへ)

TOPIC

## はこだて男女共同参画フォーラム 2023

令和5年9月23日(土祝) 函館競輪場テレシアター

主催／はこだて男女共同参画フォーラム実行委員会

【講演テーマ】

**無意識のジェンダーバイアス～家庭・教育でできる取り組み～**

【講師】



東京工業大学リベラルアーツ研究教育院准教授

**治部 れんげ氏**

日経 BP 社にて経済記者を16年間務める。ミシガン大学フルブライト客員研究員などを経て2021年4月より現職。内閣府男女共同参画計画実行・監視専門調査会委員、日本ユネスコ国内委員会委員、東京都男女平等参画審議会委員、豊島区男女共同参画推進協議会会長、日本メディア学会ジェンダー研究部会長、日本テレビ放送網株式会社 放送番組審議会委員など。一橋大学法学部卒、同大学経営学修士課程修了。著書に『稼ぐ妻 育てる夫：夫婦の戦略的役割交換』（勁草書房）、『炎上しない企業情報発信：ジェンダーはビジネスの新教養である』（日本経済新聞出版社）、『「男女格差後進国」の衝撃』（小学館）、『ジェンダーで見るヒットドラマー韓国、日本、アメリカ、欧州』（光文社）、『きめつけないで！「女らしさ」「男らしさ」：みんなを自由にするジェンダー平等』1～3巻（汐文社）等。

講演会要旨は次号のマイセルフにてお届けします。お楽しみに！

## 相談窓口

配偶者からの暴力、家庭生活、困りごと、悩みごとなど、お気軽にご相談ください。

### 函館市女性センター

●DV・虐待・離婚相談 ●働く女性の悩み相談  
火・木曜日 10時～15時  
水・金曜日 18時30分～20時30分  
Tel.84-8742

●セクシャルマイノリティ相談  
水曜日 13時～17時  
Tel.23-4188

### ウィメンズネット函館

月～金曜日 10時～17時  
Tel.33-2110

### 女性相談室

(函館市配偶者暴力相談支援センター)

〔市役所本庁舎2階〕 Tel.21-3010  
〔亀田支所〕 Tel.86-7100  
月～金曜日 8時45分～17時30分

### 函館・道南 SART

●性暴力被害者相談 Tel.85-8825  
月～金曜日 10時～17時

### 配偶者暴力相談支援センター

〔渡島総合振興局環境生活課〕  
月～金曜日 9時～17時 Tel.47-5789

### 家庭生活相談 (電話および面談)

〔函館家庭生活カウンセラークラブ〕  
●女性センター Tel.84-8742  
月・金曜日 10時～12時・13～15時  
火・木曜日 18時30分～20時30分  
水曜日 10時～12時

●湯川支所 Tel.57-6161  
火曜日 10時～12時

●亀田支所 Tel.45-5581  
木曜日 13時～15時

### マザーズ・サポート・ステーション

(函館市子育て世代包括支援センター)  
●妊娠 ●出産 ●子育て  
〔函館市子ども未来部母子保健課〕  
Tel.32-1565  
月～金曜日 8時45分～17時30分

### ひとり親家庭サポート・ステーション

●市役所本庁舎2階 Tel.21-3193  
月～金曜日 8時45分～17時30分  
第2木曜日 8時45分～19時30分  
●亀田支所 Tel.86-7100  
月～金曜日 8時45分～17時30分  
第4木曜日 8時45分～19時30分  
※第2・第4木曜日17時30分以降は要事前予約

### 道立女性相談援助センター

月～金曜日 9時～17時  
Tel.011-666-9955

### 女性の人権ホットライン

〔函館地方事務局〕 Tel.0570-070-810  
月～金曜日 8時30分～17時15分

### 北海道警察函館方面本部

相談センター #9110 / 緊急時は110番へ

### 函館被害者相談室

水曜日 10時～15時 Tel.43-8740

毎月1回配信中!

函館市男女共同参画メールマガジン

## Hakodate☆かがやきネット



配信をご希望の方は、  
どうぞ、ご登録ください!

### ★登録方法★

- ①函館市 ホームページ ( <https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2014012900355/> )
- ②函館市女性センター ホームページ ( <https://www.hakodate-josen.com> )
- ③配信サイト「まぐまぐ!」 ( <https://mobile.mag2.com/mm/0000233240.html> )

女性センターで行われている講座やイベント、職場や家庭での男女共同参画(ワーク・ライフ・バランスなど)のエッセンス、講演会や書籍の紹介、内閣府からのお知らせなど、男性と女性がともにいきいきと暮らすためのお役立ち情報を、誰もが気軽に読むことができる内容にしたものです。

QRコードから  
簡単アクセス!



HAKODATE 男女共同参画情報誌  
マイセルフ 2023・秋 Vol.70  
令和5年(2023年)9月発行

企画・編集/函館市女性センター  
発行/函館市市民部市民・男女共同参画課  
〒040-8666 函館市東雲町4番13号  
TEL.0138(21)3470 FAX.0138(23)7173  
E-mail: danjokyodo@city.hakodate.hokkaido.jp

